

# 今後の感染拡大に備えた対策強化のポイント

令和3年10月15日  
政府新型コロナウイルス  
対策本部会議資料

参考資料 2

(今夏)

(病床の確保、臨時の医療施設の整備)

(今後)

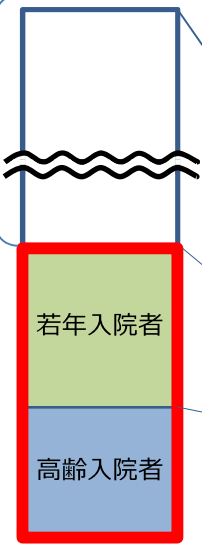
デルタ株への置き換わりなどによる  
今夏のピーク時

最悪の事態を想定した  
次の感染拡大への備え

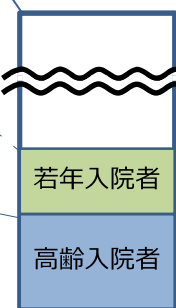
自宅・宿泊療養者

要入院者

接種率

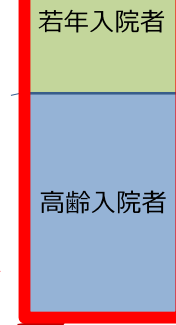


**【ワクチン接種の効果】**  
若年層のワクチン接種率が  
70%に進むことで、  
**感染者は約5割減\***  
\*ワクチン接種以外の条件は今夏と同一



今夏の**2倍程度**  
の感染力を想定

若年層の接種率の増加  
により、高齢感染者の  
割合が増加



**入院患者の受入の2割増強**

**【さらなる感染拡大時】** (感染力が例えば  
3倍となった場合)

いざという時の強い行動制限

+

一般医療の制限の下、緊急的な病床等を  
確保するための具体的措置

- ・国立病院機構・JCHO等の緊急病床確保
- ・臨時医療施設等の確保・拡大

**【自宅療養者等の健康観察・治療】**

- 地域の医療機関を活用し、陽性判明当日・翌日から速やかに健康観察・治療を実施

**【治療薬の確保】**

- 中和抗体薬の投与
- 経口薬の実用化を年内に目指す

**【病床の確保、臨時の医療施設等の整備】**

**入院患者の受入の2割増強を要請**

- 病床の確実な稼働（8割以上の利用率）
- 公的病院の専用病床化・現行法下での権限の発動 ※国立病院機構・JCHOなど
- 臨時医療施設・入院待機施設の確保
- 医療人材の確保等
- ITを活用した稼働状況の徹底的な見える化

国の主導において行うもの

国・都道府県の連携の下行うもの